

# 令和8年度 佐賀市立東与賀小学校 教育課程

## 1 学校教育目標

『ふるさとを愛し、自ら学び、ともに生きていく東よっ子の育成』  
－ 「元気」と「笑顔」あふれる学校 －

## 2 本年度の重点目標

- 子どものWell-beingの実現 ① 校内研究と特別支援教育の充実(生きる力を身に付ける)  
② 生き生きと学べる環境作り(心身の健康・安心して学べる環境)
- 教師のWell-beingの実現 ③ 校内研究と特別支援教育の充実(指導力の向上、子ども理解)  
④ 働き方改革の推進(チーム学校、ワーク・ライフバランス)

## 3 重点取組内容

### (1) 学習指導の充実

- 校内研究を中心に、児童一人一人が自分の思いや考えを積極的に伝え、主体的に学ぶ力を高めることのできるような授業づくりを目指す。
- 「全国学力・学習状況調査」とCRTテストの結果を全職員で分析し、本校児童の強みや弱みを共通理解する。全校で必要な課題を話し合い、PDCAサイクルに基づく具体的な取り組みを考えて実施する。
- 児童の基礎的基本的な学力を定着させるために、学力向上部会を中心に校内で取り組むことを共通理解し、実施する。
- 家庭学習の習慣化を目指し、懇談会等で保護者に対して家庭学習の啓発を行う。中学校と連携した「家学・家読チャレンジ週間」を設定したり、タブレットパソコンを活用した課題を出したりするなど、家庭学習の在り方を工夫する。
- 「全国学力・学習状況調査」の結果について保護者へ開示し、「学力向上だより」で学力向上に関する学校での取組等を発信する。

### (2) 生徒指導の充実

- 「〇月の心」を活用して児童の心の状態を定期的に把握し、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- 生活指導協議会を月末に行う。  
・各月の生活目標について、学年の実態に応じた取組や振り返りを行い、共通理解のもと継続的な改善につなげる。  
・問題行動事案については、生徒指導協議会で組織的に共有・記録し、再発防止や指導・支援に生かす。
- 校則や学校のきまりについては、児童の実態を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。
- 情報機器の適切な使用について、保護者・地域、外部機関と連携しながら情報モラルの指導を行う。
- 欠席や遅刻・早退が目立つ児童については、組織的な支援体制を整える。SCやSSW等と連携し、家庭訪問や担任と情報共有を行う。
- いじめの問題に対する児童の主体的な取組を通して、児童の人権意識を高める。

### (3) 特別支援教育の充実

- 支援体制: 配慮を要する児童について、生徒指導協議会等で全職員の共通理解を図ると共に、校内教育支援委員会を計画的に開催し、必要に応じてケース会議を開き、支援やまなびの場の検討を行う。
- 個別ファルの作成: 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」、「ピンクファイル」の作成、評価を行い、一貫した継続的な支援ができるようにする。
- 校内研修: 「授業のUD化」の視点からの具体策や「自立活動」について等、特別支援教育に関する校内研修を全職員対象に実施し、共通理解を図る。
- 連携: 必要に応じて巡回指導の利用や医療・福祉等の関係機関との連携を図り、情報を共有し指導に生かす。幼稚園や・保育園・中学校との連携を図り、指導の継続性や接続の円滑化を図る。また、特別支援学級見学会や就学相談会等、就学・進学に関する連携の推進を図る。
- 啓発活動: 特別支援学級への理解を深めるために、5月の全校集会の時間に、「通級・なかよし学級紹介」を行う。特別支援教育について、配付物や講演会などを通して、保護者・地域に理解を促す。

